

秩 父 保 健 医 療 圏

各団体・市町等の取組について

01 秩 父 郡 市 医 師 会	……	1 頁
02 秩 父 郡 市 歯 科 医 師 会	……	2 頁
03 秩 父 郡 市 薬 剤 師 会	……	3 頁
04 保 険 者 協 議 会	……	4 頁
05 看 護 協 会	……	5 頁
06 秩 父 市	……	6 頁
07 横 瀬 町	……	7 頁
08 皆 野 町	……	8 頁
09 長 瀬 町	……	9 頁
10 小 鹿 野 町	……	10 頁
11 秩 父 消 防 本 部	……	11 頁
12 埼 玉 県 秩 父 福 祉 事 務 所	……	12 頁
13 埼 玉 県 秩 父 保 健 所	……	13 頁

01 秩父郡市医師会

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

- ① 秩父地域救急医療対策（休日診療所、在宅当番医制、二次救急体制、小児初期救急体制、県特殊救急医療体制）に努めている。計画立案し決定した休日診療所の診療時間の延長を継続中である。また二次救急輪番体制の再構築が必要な現状を確認し、各関係機関と対応を協議中である。
- ② 新型コロナウイルス感染症対策への対応として、帰国者接触者外来、発熱者外来・PCR検査センター、診療・検査機関、帰国者・接触者相談センターを設置し、感染拡大防止に努めている。
- ③ 地域健診業務（特定健診、職域健診、がん検診、学童二次検診、胸部X線読影、その他の健診業務）に努めている。
- ④ ちちぶ医療協議会（ちちぶ圏域医師・医療関係者教育プログラム作成、救急医療に関する事業、予防医療に関する事業、リハビリテーションに関する事業）へ協力している。
- ⑤ 1市4町の実務者と医師会役員が会し、地域保健事業の円滑な推進と将来計画を総合的に検討し、地域住民の期待に応えるべく「ちちぶ保健・医療・福祉総合対策会議」を設置し、成果を挙げている。
- ⑥ 埼玉県、埼玉県医師会からの要請により2025年度問題に備え、医療と介護の連携を図るための在宅医療提供体制に向けて、1市4町と共同で事業を進めている。特に在宅緩和ケア体制への構築に向けての研修会等開催した。
- ⑦ ちちぶ版地域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を目指し、行政と多職種連携の上で取り組んでいる。
- ⑧ 秩父郡市医師会立秩父看護専門学校を運営し、将来、秩父地域の看護業務を担う人材を発掘、育成すると共に、地域内で働く看護師の後押しをしている。
- ⑨ 厚労省委託事業として、秩父地域産業保健センターを運営し、小規模事業所等からの相談業務、労働者へ保健指導等の事業を展開している。
- ⑩ 糖尿病性腎症重症化予防として、特定健診受診者に対する糖尿病早期発見、腎症の早期診断、早期治療に取り組んでいる。
- ⑪ 予防接種業務として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対し感染症予防に努めている。特に令和2年度は、季節性インフルエンザ接種に力を注ぎ、冬季発熱者の減少に努めた。
- ⑫ 新型コロナウイルスワクチンの、全郡市民接種に向けての準備を行政機関と協力して進めている。
- ⑬ 災害医療等に備え、自治体と共に連携の強化を図るための研修会等へ参画している。
- ⑭ 地域住民への健康啓蒙活動を、講演の他、YouTube、FM ラジオを利用して行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症関連について、特に力を入れた。
- ⑮ 学校医が中心となり児童生徒の健康の保持・増進に努めると共に、教職員を対象にした食物アレルギー対策の講演会の実施や運動器検診に努めている。
- ⑯ 発達障がい児への対策について、行政、学校と本会が一体となり取り組んでいる。

02 秩父郡市歯科医師会

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

- 1、地域在宅歯科医療推進体制整備事業
 - ・「秩父郡市在宅歯科医療推進窓口」の設置
歯科衛生士を常駐し、訪問診療派遣や相談業務を行っている
地域病院と連携し、口腔アセスメントおよび管理の実施
- 2、休日在宅歯科診療の実施
 - ・年末年始やGW等の連休を中心に会員の輪番制で実施している
- 3、口腔機能向上事業
 - ・口腔機能の維持・向上が糖尿病などの疾病、認知症、フレイルの予防につながることを周知するため、講演会等の事業を実施
 - ・秩父FMに出演し、地域住民に歯科知識向上のための講話を実施
- 4、歯科健診事業
 - ・健康まつり会場での健診・歯科相談の実施
 - ・障害者施設における健診および職員向け口腔ケア研修会の実施
 - ・地元中小企業の歯科健診の実施
 - ・健診・相談・研修会により歯科口腔保健の重要性の啓発を行っている
- 5、行政ならびに多職種との連携の推進
 - ・秩父医療協議会（救急医療分科会、予防リハビリテーション分科会）への医院派遣
 - ・市・町地域ケア会議ならびに秩父市地域ケア会議への委員派遣・協力
 - ・地域包括ケア構築のための連携を積極的に進めている

03 秩父郡市薬剤師会

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

生活習慣病対策と在宅医療の推進

- ・生活習慣病重症化予防対策事業への参画
- ・薬剤師居宅療養管理指導の実施（訪問薬剤管理指導）
- ・管理栄養士の訪問栄養指導の実施（腎機能低下、糖尿病悪化、低栄養などの防止の成果）
- ・チャオの会開催（地域住民向けの薬、栄養、健康について講演と相談会、茶話会）
- ・薬剤師と管理栄養士の連携強化、合同勉強会開催
- ・医療材料、衛生材料の選定と備蓄倉庫設置、運用
- ・他職種との連携会実施
- ・私の療養手帳とおくすり手帳の啓発と使用推進
- ・地域ケア会議への参画
- ・ちちぶ医療協議会（救急医療に関する事業、予防リハビリ医療に関する事業）へ参画

精神疾患医療と自殺予防対策の推進

- ・小中学校等における薬物乱用防止教室開催
- ・危険ドラッグ対策
- ・自殺防止対策のため店頭啓発
- ・オレンジカフェの開催

救急医療

- ・二次救急輪番当番病院に対応した休日及び準夜帯の薬局開局
- ・医師会による休日診療所に対応した休日の薬局開局
- ・小鹿野中央病院の初期救急に対応したおがの薬局開局（第2、第4日曜日）

04 保険者協議会

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

■生活習慣病予防及び重症化防止対策の推進

保険者として、被保険者の健康保持・増進、健康寿命の延伸と医療費適正化のため、保健事業に積極的に取り組んでいます。コロナ禍で制約を受けるなかで、感染拡大防止対策を講じながら保健事業を実施しました。

○特定健康診査及び特定保健指導の実施

40歳以上の被保険者（小鹿野町は35歳以上）を対象に、特定健診及び特定保健指導を実施し、健康管理の促進を図っています。また、診療情報提供事業や健康診査等の周知など受診率向上に取り組んでいます。

皆野町は、新規にAI（人工知能）を用いて健診データ等を解析し、特性に基づいた行動変容を促すメッセージで受診勧奨を行いました。

○人間ドック検診費補助事業

皆野町、小鹿野町は30歳以上、秩父市、横瀬町は35歳以上、長瀨町は40歳以上の被保険者を対象に、人間ドック受診費用の一部を補助しています。

○データヘルス計画の推進

健診データやレセプトデータを活用し、より実効性の高い保健事業を進めています。保健事業の実施状況や成果・課題等の中間評価を行いました。

○後期高齢者健康診査の実施（フレイル予防対策）

後期高齢者医療では、フレイルに関する問診票により健康診査を実施しています。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的取組（フレイル予防対策）

高齢者の心身の多様な課題に対応するため、介護予防に関する支援事業と保健事業の一体的な実施を進めています。通いの場（地域活動）での健康教育や健康相談、運動指導、個別支援によるフレイル予防指導や疾病の重症化予防などに取り組んでいます。

○糖尿病性腎症重症化予防事業 ※皆野町は保険者事業で報告。皆野町以外の市町は一般事業としています。

特定健診の結果HbA1c 6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査の受診勧奨を実施。また、医療機関と連携した保健指導を実施しています。

○健康ポイント事業の実施

健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を図り、健康保持・増進を目的とする健康マイレージ事業を進めています。

- ・埼玉県コバトン健康マイレージ（ウォーキングにより健康増進を図る。）
- ・各市・町独自の健康ポイント事業（健康診査、がん検診、健康教室等への参加等により健康増進を図る。）

05 看護協会

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

今年も、埼玉県看護協会秩父地区の代表として、奇数月に看護師会を開催し、秩父地区の病院や訪問看護ステーション、そして看護専門学校の教員を交えて、情報の共有や学習会を行う予定でしたが、コロナ禍で集まりを持つこともできず、学習会も行うことが出来ませんでした。電話やメールで近況を報告し合い、コロナに対しての情報共有を行い励まし合いながら、病院や施設、学校と支え合ってきました。各病院や施設等の長は、自部署の現場で勤務してくれているスタッフの労をねぎらうことで、精一杯の一年だったと思います。

秩父市立病院でも、昨年4月からエントランスでの体温測定が始まりました。面会を禁止にして月曜日と木曜日の15:00から16:00の1時間のみ、患者の生活用品の交換に訪れて下さるご家族に、入院中の患者の写真や手紙を看護師の手作りの台紙に貼って渡したり、看護師から入院中の状態を聞いていただくことにより、患者とご家族の絆を断ち切らないように工夫をしました。最近になっては、ビデオ電話を始めました。とても好評でした。予測のつかなかった出来事ばかりで手探り状態の毎日でした。

今年度は、外に出て研修したり、学習会を開いたり、外部の方との交流を深めることはできませんでしたが、院内で協働できたことが何よりも、看護の質を高められたと思います。この経験から気づけたことは、スタッフがこの病院で働き続けていきたいと思ってくださったことでした。自分たちで何とかできるという自信が持てたことでした。

来年度は、どんな事が待ち受けているのでしょうか。

今回の経験から学んだことを、次の世代に『看護って素晴らしい』ということを伝え、人材育成のために展開していきたいと思いました。

そして秩父地域看護師会が再開できることを願っております。

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【ちちぶ医療協議会の取組】

①救急医療支援

二次救急輪番病院（秩父病院・秩父市立病院・皆野病院）及び急変時特別病院を有する小鹿野中央病院に対して財政支援を行い、診療所医師による初期救急診療への支援や病院勤務医の負担軽減、医療スタッフの増員を図ることができた。また、休日及び準夜帯の調剤薬局開設について、秩父郡市薬剤師会に財政支援を行い、病院スタッフの負担軽減、患者の利便性の向上を図ることができた。

地域の救急医療体制については、埼玉県地域保健医療計画及び埼玉県地域医療構想にある施策でもあるため、埼玉県にも積極的に対応いただき、市・町に対し、適切な指導・支援をお願いしたい。

②産科医療体制の確保

秩父保健医療圏医師等派遣支援事業補助金を活用するとともに、ちちぶ定住自立圏の財政支援と合わせて、市内の産科診療所に埼玉医科大学関連病院から週3回の産科医派遣と秩父市立病院から助産師1名の派遣を行った。

【秩父版地域包括ケアシステム（ちちぶ いきあいシステム）の推進】

地域包括ケアシステムを推進していく上で重要となる在宅医療、在宅緩和ケアの周知にコミュニティラジオを利用し「在宅緩和ケア地域医療構築事業」、「ACP普及事業」に関わるテーマで番組「人生いきいきあうラジオ」を毎週1回放送、住民への周知を図った。さらに同テーマで一步深めた内容での専門職向けオンライン研修を実施した。

【介護人材の確保対策の推進】

介護人材の中で、特に深刻となっている訪問介護員の高齢化による人材不足解消に向け、訪問型生活支援サービス（緩和型）従事者研修を開催し、担い手の養成を図った。

【生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進】

がん検診の重要性や正しい知識・情報を市報や特定健診会場で伝え、個々に勧奨を行うほか、協会けんぽ組合の保険者と連携し、がん検診同日実施の日を設定し、受診率向上に努めた。

また、医師会、市立病院と連携した「糖尿病腎症重症化予防事業」に取り組み、保健師・管理栄養士による生活訪問指導を実施することで、人工透析への移行防止に努めた。

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

◎生活習慣病や疾病の早期発見・早期治療、重症化予防のための取組

(1) 特定健診・がん検診受診率向上の取り組み

○インセンティブを提供する「わくわくポイント事業」に取り組みながら、健(検)診を実施した。特定健診とがん検診の同時申し込み及び実施をし、受診しやすい環境づくりに努めた。

また、防災無線を利用し周知するとともに、未受診者への個別通知による受診勧奨を行った。

●主な検診受診率

特定健診	平成30年度 44.9%→	令和元年度 45.2%→	令和2年度 36.0% (見込み)
大腸がん検診	平成30年度 11.7%→	令和元年度 11.7%→	令和2年度 11.4% (見込み)
胃がん検診	平成30年度 5.2%→	令和元年度 5.0%→	令和2年度 4.6% (実施中)

○事業主健診データの収集

特定健診の未受診者のうち、事業主健診を受けていることが判明した方にその健診データの提供をお願いする文書を送付した。(送付件数 48 件)

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加・実施

事業開始から4年目となる。参加者は、歩数をタブレットにかざすことで、歩数の累計や団体ごとに順位が表示されるため、ウォーキングを継続する励みになっている。事業参加を呼びかけるため、ウォーキング講座を実施し、また、健(検)診時や広報紙で啓発を行った。

申込者数(令和3年1月末現在): 433人

(3) 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施

秩父郡市医師会と1市4町の連携事業として引き続き実施した。

特定健診の結果から対象者を抽出し、将来的な新規の透析導入者の減少を目指すため個別に受診勧奨を行った。(対象者 56 人)

(4) 歯周病検診の強化

個別歯周病検診を受診した40歳以上の町民を対象に、検診料の一部に助成を行った。

◎精神保健と自殺防止対策の取組

臨床心理士による「こころの健康相談」を実施した。(全6回: 隔月)

こころの健康づくりと自殺防止を目的に「こころいきいきセミナー」を「女性編」「男性編」の2回開催(11月)

その他、がん検診受診者にこころの健康づくりに関するリーフレット配布や広報等を通じて啓発を行った。

◎子育て支援事業の取組

(1) 母子保健事業の充実

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対応した総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として保健師等の専門職を配置し、切れ目のない相談支援事業を実施した。今年度はコロナ禍において、感染予防対策をとりながら実施となったため、乳幼児健康相談は、赤ちゃんなんでも相談室とちびっこなんでも相談室に分けて実施した。乳幼児健診は実施回数を増やし参加人数を制限しながらの実施となった。そのほか、安心して子育てができる支援体制の強化を目的として、助産師・保健師等の多職種による相談事業(赤ちゃんくらす)を実施した。今年度より子育てアプリ「よこハグ」を導入し、妊娠期の記録や出産、育児の記録、予防接種スケジュールの管理などをアプリでできるようになり、育児の負担軽減に役立っている。新生児聴覚検査費用、産後健康診査費用及び乳房ケアに係る費用の一部を助成する事業等、経済的支援も引き続き行った。

(2) 小児科・産婦人科オンライン相談事業の実施

妊娠中や子育て中の方々の不安感を軽減し、妊娠期(産前・産後)から子育て期(0歳~15歳のお子さんがあるご家庭)にわたる切れ目のない支援の充実を図るため、スマホ等からテレビ電話やチャット等により、無料で小児科医や産婦人科医、助産師に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を実施した。また、いつでも相談としてウェブサイトから質問を送ると24時間以内に回答がくる事業を拡大した。コロナ禍において、気軽に専門家に相談できる施策として充実を図った。

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【生活習慣病対策の推進】

①インセンティブヘルスケアポイント事業

20歳以上の町民を対象に、住民健診やがん検診の受診、町事業に参加、健康に留意した生活を送っている方等にポイントを付与し、合計20ポイントでインセンティブとしてクオカード1,000円分を贈呈。

②埼玉県コバトン健康マイレージ事業

18歳以上の町内在住または在勤の方を対象に、気軽に楽しく健康づくりに取り組んでもらい、健康長寿に繋げることを目的に平成30年度から事業を開始した。令和3年1月末現在、延べ利用人数506人。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業「みんなの応援パッケージ」として、平均歩数5,000歩以上の方の中から抽選で地域商品券を贈呈。

③糖尿病性腎症重症化予防の推進

特定健診の結果HbA1c6.5%以上の方を対象に、アルブミン尿の検査を受診勧奨。

また、通院中の急速腎症進行ケースを対象に医療機関（皆野病院・秩父市立病院）と連携した保健指導を実施。

【親と子の保健医療対策】

1. 妊娠期からの切れ目のない支援の取り組み

①母子健康手帳交付時に全妊婦対象にアンケートを実施し、その結果に基づき保健師が個別に相談対応する。また、毎月1回健康づくり担当内で妊娠届出者全員についてカンファレンスを行い、ハイリスク妊婦には保健師が相談支援を実施。

②全出生児を対象に地区担当保健師が家庭訪問を実施。

【精神医療と自殺予防対策】

1. 自殺予防の取り組み

①自殺予防ゲートキーパー研修会の開催

「コロナ禍のうつ予防」をテーマに研修会を開催 参加者数21人。

②住民健診の問診項目にメンタルに関する質問項目を設け、気になる回答をした方には保健師が個別相談や家庭訪問を実施。

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

(1) 子育て支援体制の整備

平成30年度に開設した「多世代ふれ愛ベース長瀬」に子育て世代包括支援センターを設置している。本施設で乳幼児健診などの母子保健事業や子育て支援事業、公認心理師による子育て相談事業などを実施することで、妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援を行うことができ、町民からも子育て支援拠点として認知されてきている。

(2) 母子保健事業の充実

不妊・不育支援として、不妊治療費等の助成のほか、乳房ケアに係る費用の一部助成をはじめ、今年度から新たに新生児聴覚検査費用の一部助成を開始している。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で安心安全な妊娠・出産に対する精神的な負担や産後の育児等への不安、感染予防など一時的に経済的負担が大きくなっている妊産婦を支援する妊産婦応援給付金を支給した。

■生活習慣病の予防と重症化防止対策の推進

(1) はつらつポイント事業

健康づくりや介護予防事業に楽しく取り組んでいただく「はつらつポイント事業」を平成30年度から実施し、健診などの受診率向上を図っている。

(2) 埼玉県コバトン健康マイレージ事業

楽しみながら健康づくりに取り組むことを目的に令和元年7月から事業を開始した。対象は18歳以上の町民で、令和3年2月10日現在の参加者は282人となっている。(歩数計250、スマホアプリ32)

(3) 後期高齢者保健事業

令和2年度からは、健康寿命の延伸などを目的にフレイル予防を取り入れた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に係る事業を開始している。

10 小鹿野町

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

1. 親と子の保健医療対策

(1) 子育て支援総合相談体制と乳幼児健診の強化

平成30年度から本庁舎内住民生活課に機能を移設した子育て包括支援センターでは、他職種や地域と連携した妊娠期からの切れ目ない子育て総合相談体制を強化している。乳幼児健診では、個別相談（歯科・栄養・子育て）を実施するほか、法定健診ではない2歳・5歳児健診を実施し、軽度発達障害の早期発見による早期支援の相談支援体制を関係機関と連携して強化している。

2. 在宅医療の推進

(1) 医療と介護の協働による在宅医療の推進

入院時から退院を見据えシームレスな連携を図る地域ケア会議と、医療と介護が協働して在宅療養の支援を行う緩和ケアチームにより、町直営の訪問看護ステーションの在宅看取り件数が令和3年2月現在で26件となり、近年最も増えている。令和2年度「私の療養手帳」の発行数は36冊であり、在宅療養の推進に活用されている。

3. 生活習慣病対策の推進

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

令和2年度の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に関する法律の施行に伴い、身体機能の低下予防や生活習慣病の重症化予防を目的にフレイル対策を重点項目に掲げ、集団特定健診等から対象者260人を抽出、専門職が連携して個別指導（ハイリスクアプローチ）や通いの場での教育（ポピュレーションアプローチ）を実施した。

4. 精神医療と自殺防止対策の推進

(1) こころの相談事業の実施

自殺予防対策として全世代への普及啓発と臨床心理士によるひきこもり及びこころの相談を実施し、令和3年1月までに延53人の利用があった。ゲートキーパー養成講座は、ボランティア団体に呼びかけ2回に分けて実施し、53人を養成した。

5. 健康危機管理体制の整備充実

(1) 高齢者見守りネットワークの推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指して、医療機関、地域、警察、消防、郵便局、金融機関、民生委員、ボランティア、福祉・介護関連事業者、老人クラブ等が連携して支えるための会議を年3回開催し、取組を検討している。令和2年度は高齢者のための社会資源マップを作製した。

(2) コロナ禍における共同避難所開設訓練の実施

コロナ禍での災害発生を想定した避難所開設訓練を町と障害者福祉施設との共同で実施。感染対策等の課題を検討し、関係機関の連携を推進した。

(3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

秩父郡市1市4町と秩父郡市医師会では、令和3年1月14日に「新型コロナウイルス感染拡大に向けた取り組みに関する覚書」を締結し、秩父地域で一体的なワクチン接種体制の構築を行っている。

11 秩父消防本部

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

1 救急自動車、高度救命処置用資機材等の現場活動に必要な資器材の整備を図ると共に、各種認定救急救命士の養成を行うことにより、救急救命処置の高度化を進めている。

(令和2年度に実施した認定救急救命士養成の講習、実習は下記のとおり。)

- ① 気管挿管病院実習(深谷赤十字病院) 1名
- ② ビデオ喉頭鏡座学講習(埼玉県消防学校救急救命士養成課程) 3名
- ③ ビデオ喉頭鏡病院実習(深谷赤十字病院) 1名
- ④ 気管挿管再教育病院実習(深谷赤十字病院) 4名

2 二次救急病院の負担軽減に向け、処置困難と思われる傷病者をドクターヘリや管外の三次医療機関及び専門的治療が可能な病院へ直接搬送を行っている。

また令和2年10月1日より、埼玉医科大学国際医療センターのドクターカー運用に関する協定書を締結し連携を行っている。

3 一般市民、中学生、高校生及び各種団体への救急講習を積極的に行い応急手当の普及啓発による救命率の向上を目指している。

4 秩父郡市医師会、二次救急輪番制病院(秩父病院・秩父市立病院・皆野病院)他管内病院と連携し年間の割り振りの調整を行う。

12 埼玉県秩父福祉事務所

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【在宅医療の推進】

■ 介護人材等の確保

- ・ひとり親家庭に対し、無利子の母子福祉資金の貸し付けを行い、秩父看護専門学校等への就学を支援した。

■ 介護事業者の指導

- ・介護事業者への指導や立入調査を行い、介護サービスの質の維持・向上を図った。

【生活習慣病対策の推進】

- ・生活保護世帯に対し、経済的支援に加え、生活習慣の改善を促すとともに、必要に応じて受診勧奨や頻回・重複診療防止の指導を行った。
併せて、感染症予防や熱中症予防の啓発を行った。

【健康危機管理体制の整備充実】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、秩父保健所と合同で介護事業者の職員を対象とした「感染症対策研修会」を実施し、集団感染予防の啓発を行った。
- ・秩父保健所と合同で管内福祉施設を訪問し、感染症対策に関する指導を行うとともに、随時、介護事業者に対し、感染防止に関する情報提供及び注意喚起を行った。
- ・介護施設における新型コロナウイルスの集団感染が発生した際に、経過の把握を行い、不足物資の提供等による支援を行った。
- ・介護事業者等を対象とした「連絡訓練」を実施し、災害時などにおける連絡体制を確認した。

13 埼玉県秩父保健所

令和2年度に圏域別取組の推進に関連し重点的に取り組んだこと、成果等

【救急医療(小児救急を含む)】

■救急医療機関の適正受診や救急車の適正利用の推進

- ・救急電話相談(＃7119)の周知・啓発に取り組み、急な病気やけがに対する県民の不安を解消するとともに、適正な救急医療の受診を促し、軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減に資するよう支援した。

【親と子の保健医療対策】

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実・強化

- ・妊娠期からの支援が適切に行われるよう、市町、助産院等の関係機関を対象とした研修会、会議及び事例検討会を開催するとともに、必要に応じて同行訪問を行った。

■児童生徒の健康保持の増進

- ・学校における薬物乱用防止教室の開催を支援するとともに、講師となる薬物乱用防止指導員や学校関係者等に対して、薬物依存に関する研修会を開催し、知識の向上を図った。

【在宅医療の推進】

■広域的な在宅医療体制の推進

- ・「ちちぶ版地域包括ケアシステム」推進のための取組に参加し、関係団体等との連携及び協働に努めた。

【生活習慣病対策の推進】

■データヘルス計画を活用した健康づくりの推進

- ・データヘルス計画中間評価に係る研修会において、中間評価の実施に向けたポイントや具体的な手法について講演した。

■歯科口腔保健対策の推進

- ・歯科診療における感染対策について、歯科医師会との連携を図った。

【精神医療と自殺防止対策の推進】

■精神疾患(認知症を含む)の支援体制の構築

- ・精神障害に対応した地域包括ケアシステム構築推進のため、会議や研修会を開催した。

■自殺防止対策と自殺未遂者支援体制の推進

- ・秩父地域自殺予防対策連絡会等において、関係機関とともに自殺予防対策について検討を行った。
- ・自死遺族のつどいを4回開催した。

■依存症対策と薬物乱用防止対策の推進

- ・管内中高生に薬物乱用防止グッズ等を配布し、啓発活動を実施した。
- ・管内アルコール依存症自助グループ(AA)や断酒会との連携に努めた。

【健康危機管理体制の整備充実】

■医療機器依存度の高い避難行動要支援者等の対策の推進

- ・災害時における個別支援計画を作成し、随時更新を行うとともに、要支援者に係る台帳及び地図を整備した。
- ・関係者に対し、同行訪問や支援会議の中で、災害時における支援の必要性を伝えた。

■平時における感染症対策の充実

- ・高齢者・障がい者施設及び市町職員を対象に、感染症対策研修会を開催した。
- ・医療機関及び市町職員を対象に、新型コロナウイルス感染症をテーマとした医療安全研修会を開催した。
- ・福祉施設でのクラスター予防のため、特養等の宿泊型施設に対し、感染症対策の実施支援を行った。

■MERSや新型インフルエンザなど広域的脅威となる重大感染症対策の推進

- ・令和2年度の管内感染症業務緊急連絡網を作成し、関係機関に配布した。
- ・診療所職員を対象に、個人防護具着脱実習を開催した。
- ・新型コロナウイルス陽性患者発生時対応について、検査実施医療機関に周知・依頼した。